

# まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療

## 病院長就任のご挨拶

病院長 永田 正男

初めまして、平成 27 年 4 月 1 日から伝統ある高砂市民病院の院長に就任しました永田正男と申します。桜が咲き誇る春を迎えた高砂市民病院に来られたことを大変、光栄に思っています。赴任して 3 週間、率直に感じたことを書かせていただきます。



朝の病院玄関では笑顔の絶えない爽やかなボランティアの方が活動を開始されており、市民に親しまれている地域密着型の病院だと誇りに思います。伝統的に血液浄化センターは慢性腎不全でお困りの地域の患者さんにとってなくてはならない存在となっています。外科系の手術件数はやや減少傾向ですが、優れた技量を発揮して合併症の少ない医療を実践しています。職員の皆様が、医療に誇りをもって、日々の診療に当たられていることに感銘いたしました。このように高砂市民病院は、伝統ある地域の中核病院で、地域密着型の自治体病院でも抜きん出ている病院と実感しています。

社会情勢が変化し、地域医療構想が打ち出され、近隣の自治体病院が統合し、大病院化が進行する中、高砂市民病院も社会情勢に対応できる体質に変化が求められています。平成 26 年度から始まった DPC 病院などからの入院診療情報を収集し、医療資源の投入量などから各病院・各病床を「超急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」に明確に分け、その情報が 2 次医療圏（当院では明石市を含む 3 市 2 町）ごとに、本年 6 月頃には発表される予定です。既に始まっている「人口減少」と「超高齢社会」を見据えて、10 年後の 2025 年の人口ピラミッドから予想される社会を目標に、各病床機能を収斂させることが予想されています。これから「地域医療構想調整会議」が 2 次医療圏ごと開催される予定であり、当院も地域の急性期医療を維持できる体制強化と現在の状況分析と将来予測に応じた変化を求められています。21 世紀の本邦の医療全体の変化に取り残されない努力が求められています。

こうした社会医療情勢に対応しながら、研修医を含む若い医師が集う環境作りを見据えて、大学附属病院との連携を模索し、地域の診療を担っている病院、診療所など医師会関係者と病病連携、病診連携を通じた交流が行えるよう努力してまいりたいと思います。安心して安全な地域の医療を支えられる高砂市民病院として持続可能な未来を目指して、大野徹病院事業管理者と一緒に鋭意努力を惜しまないよう努めてまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

# お知らせ

## 1. 病院の役職の変更について

病院事業管理者	大野 徹 (前病院事業管理者兼病院長)
病 院 長	永田 正男 医師

## 2. 医師の異動について

3月末日で

内 科	田中 祐貴 医師
外 科	林 史子 医師
臨床研修医	山田 大 医師が異動となりました。

4月より

内 科	永田 正男 医師
内 科	岡本 光平 医師
外 科	山名 秀典 医師
外 科	永田 真知子 医師
整形外科	中村 圭 医師

5月より (毎月第2木曜日) ※尚、5月のみ第3木曜日の5月21日)

呼吸器内科 加藤 有加 医師が着任します。



※医師の異動に伴い、外来診察担当が変更となっておりますのでご確認ください。

## 3. 4月のホッとひと息寄り道講座

テーマ	認知症患者介護の会「いるかの会」
講 師	いるかの会 会長 黒田氏
日 時	4月13日(月) 22日(水) 10:00~10:30
場 所	正面玄関ホール 公衆電話前

## 4. 看護の日の開催について

日 時	5月8日(金) 9:00~13:00
場 所	1階 玄関ホール

～看護の心をみんなの心に～をスローガンに、おもいやりのある温かい看護を届けたいと思っています。

今回は、皆様の**手洗いのチェック**が簡単に出来るコーナーや、**相談コーナー**も予定しています。ぜひこの機会に、お気軽にご相談下さい!!!



きほうへのかけはし に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981 (内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>